

第2学年生活科指導案

日時 平成15年6月18日
授業者 板津純子
場所 2年組教室、
江名子小学校運動場
裏山

1. 単元名 「しぜん、はっけん！ピンゴ」

2. 単元の目標

春夏秋冬、継続して観察することで、自然の変化に気づき、自分たちの身近な自然に積極的に関わっていかうとする。

3. 単元について

日記にツバメの巣を続けて見てきたことを書いている児童がいたり、休み時間には裏山に行ってイモリやかえる、ありを捕まえて遊ぶ児童がいたり、下校後には林の中に秘密基地を作って遊ぶ児童がいるなど、自然と触れ合って生活している児童が多い。

しかし、その中で、いろいろなことに気づきながらも、それを自分の「知的な気づき」としてとらえている児童は少ない。

小学校学習指導要領解説では、目標の として「自分と身近な動物や植物などの 自然とのかかわりに関心をもち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。」とある。そして、「身近な自然と繰り返しかわる中で自然の美しさや、不思議さ、面白さなどに気づくようにするとともにその楽しさを体全体で感じ取り、その活動の中で自然を大切にすることが育つようにすることが大切である。」と示してある。

そこで、年間を通じて、校内の探検活動をすることで、身近な自然の変化に目を向けさせるとともに、その中で、気づきを仲間と共有することで、自分の気づきに価値を見出せるよう仕向けていきたいと考えている。その意味や価値を児童が自覚できるようにしていくことで、自分の生活を工夫したり楽しくしたりすることにつながっていく。それには、教師が、活動の中から生まれる気づきを大切に、より価値のあるものへとつなげていくことが必要になってくる。

4. 研究テーマに関わって

子どもたちが豊かな活動を創り出していく生活科学習

～知的な気づきを生み出す学習活動を通して～

豊かな活動を作り出していくためには子どもの心をひきつける学習財が必要である。そして、同時に子どもにどのような活動をさせ、どのようなことに気づかせたいのかを明確にしていくことが必要である。

本単元では、「ピンゴ」形式を取り入れ、ゲーム感覚で取り組める活動を仕組んだ。そして「ピンゴ」の項目に活動のねらい、気づかせたいことを組み入れ、子どもたちが楽しみながら年間通して、自然の変化に気づけるようにしていきたいと考えた。

5. 単元指導計画 < 全 7 時間 >

時	活動内容	評価
1	<p>春(4月):「春はっけん!ピンゴ」 春の校庭、裏山の様子を観察する。</p>	<p>【関・意・態】 桜、たんぽぽが咲いたこと、ふきのとうが顔を出したことなどに関心を持ち、興味を広げようとしたか。</p> <p>【思考・表現】 見たり、聞いたり、かいたり、さわったりして自然と触れ合えたか。</p>
2	<p>夏(7月):「夏はっけん!ピンゴ」 夏の校庭、裏山の様子を観察する。 春との違いに気付く。</p>	<p>【関・意・態】 生き物が活発に活動していること、たんぽぽや桜や花壇の様子が変わってきたことなどに関心を持ち、興味を広げようとしたか。</p> <p>【思考・表現】 見たり、聞いたり、かいたり、さわったりして自然と触れ合えたか。</p> <p>【気付き】 春と比べて生き物が増えてきたこと、桜の葉が茂っていること、たんぽぽの花が見られなくなったことなどに気付くことができたか。</p>
3	<p>秋(10月):「秋はっけん!ピンゴ」 秋の校庭、裏山の様子を観察する。 夏との違いに気付く。</p>	<p>【関・意・態】 季節の移り変わりに関心を持ち、興味を広げようとしたか。</p> <p>【思考・表現】 見たり、聞いたり、かいたり、さわったりして自然と触れ合えたか。</p> <p>【気付き】 身の回りの自然の夏との違いに気付くことができたか。</p>
4 5	<p>冬(12月):「冬はっけん!ピンゴ」 冬の校庭、裏山の様子を観察する。 秋との違いに気付く。 グループで「ピンゴカード」を作る。</p>	<p>【関・意・態】 季節の移り変わりに関心を持ち、興味を広げようとしたか。</p> <p>【思考・表現】 見たり、聞いたり、かいたり、さわったりして自然と触れ合い、みんなに紹介したいものを見つけることができたか。</p> <p>【気付き】 身の回りの自然の秋との違いに気付くことができたか。</p>
6 7	<p>春(3月):「春はっけん!ピンゴ」 早春の校庭、裏山の様子を観察する。 冬との違いに気付く。 グループで「ピンゴカード」を作る。</p>	<p>【関・意・態】 季節の移り変わりに関心を持ち、興味を広げようとしたか。</p> <p>【思考・表現】 見たり、聞いたり、かいたり、さわったりして自然と触れ合い、みんなに紹介したいものを見つけることができたか。</p> <p>【気付き】 身の回りの自然の冬との違いに気付くことができたか。</p>

6. 本時のねらい

春の校庭の様子の写真と今の校庭の様子を比べたり、生き物を探したりすることで春とは変わってきた身の回りの自然の様子に気付くことができる。

見る、聞く、かぐ、さわる活動をすることで体のいろんな部分を使って観察する楽しさを味わうことができる。

授業の視点

知的な気付きを生み出す活動であったか。

五感を働かせ活動していたか。

7. 本時の展開

	学習活動	教師の支援と評価
つ か む 活 動 す る 広 げ る	<p>春のさくら、たんぼの様子を写真で振り返る。</p> <p>課題</p> <p>4月とのちがいを見つけよう。</p> <p>「夏はっけん！ピンゴ」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏山で耳をすましてみよう。鳥の声が聞こえる。なんという鳥なんだろう。 桜の木は花がいっぱいだったのに、今は葉っぱがいっぱいになっている。 花壇のチューリップは花が終わったんだね。 畑に野菜の芽が出てきているよ。 ありがっぱいだ。 ダンゴムシがいるよ。 たんぼが葉っぱだけになっている。 花のいいにおいがする。なんという花なんだろう。 葉っぱがつるつるの木を見つけたよ。 <p>集合し、「はっけん！」の交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今度 さんの見つけた花を教えてください。 生き物を捕まえて飼ってみたいな。 <p>自己評価する。</p> <p>簡単に活動を振り返る。</p>	<p><留意事項></p> <p>活動時間の設定</p> <p>活動範囲の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 1列ピンゴをしたら、教師と握手をする項目を設け、児童の活動の様子を把握する。 握手をするときには、どんな気付きがあったのか聞き、価値付け評価をする。 <ul style="list-style-type: none"> 季節の変化に着目している「はっけん！」を大切に引き上げる。 どこで、どんなものを見つけたのか価値付けるために切り返しの発問をする。 <ul style="list-style-type: none"> 楽しくピンゴができたか。 手、鼻、耳、目を使って活動できたか。